

## 2024年4月幹事会議事録

日時 2024年(令和6年)4月21日(日) 10時00分~12時30分

場所 東京外国語大学 ZOOM会議併用

出席者 谷会長、

甘利、阿部、神戸、小平(司会)、野口、山田

大谷、山根・・・オンラインにて 以上9名(50音順)

岩本侑子(オブザーバー)

### 1. 報告事項

#### (1) 学内状況他

特になし

#### (2) 事業報告

##### 1) 春期バザー

(小平)

売上げ 150,400円 (昨年度春期バザー 167,000円)

- ・物品の受け付けを10日前からとしたが、準備の負担が大きくなってしまったので短期間の方がよかった。
- ・鍋、フライパンなどはすべてIH対応できる物だけを集めるべきだった。
- ・「バザー検討チーム」を立ち上げ、労力の低減を考えた方がよいのでは。

##### 2) 新留学生への広報活動

(谷)

①入寮の留学生200名に、入寮時にウェルカムカードを手渡した。(甘利)

②オリエンテーションで支援の会の紹介を行った。(オンライン 約10分) (谷・神戸)

4月2日 私費留学生、4月4日 交換留学生、4月5日 国費留学生

③アンケートを実施したが、回答は少数だった。

回答 ISEP29名(120名中)、その他8名(40名中)

##### 3) 入学式での保護者への入会勧誘

(谷・高橋)

・幹事4名(谷、高橋、阿部、佐久間)と留学生7名で対応。勧誘の結果は以下の(3)の通り。

#### (3) 組織

1) 新規の入会 21名(3月9名、4月12名(うち4名が入学式にて))

寄付は無し

#### (4) 連絡室

- ・週3日確実に連絡室を開けることが(年齢的な問題等で)難しくなりつつあるので、連絡室当番を増やす。  
→山田幹事と佐久間幹事が新たに加わる。

#### (5) その他

##### 1) 週末交流会

- ・毎週金曜日20時~23時に実施。(4月は既に3回) 既に入寮者の6,7割が参加あり。留学生と日本人の割合は7:3で日本人のなかには元寮生や本学以外の学生の参加もあり。
- ・支援の会の事業ではないが、週末交流会は留学生の情報を得る機会でもあり、今年度も支援していく。

### 2. 審議事項

#### (1) 会員問題

(谷)

##### 1) 新入学会員減少と今後の対策

- ・6月の保護者会(対面)にて会の紹介をし、勧誘する。保護者の入会促進のため後援会に協力依頼する。
- ・会発足当初は卒業生が会員の多数を占めていたが近年は入会が少ない。卒業生の入会を促進するため、外語会に協力依頼する。

2) 会員の活動への参加（幹事、協力会員、個別事業協力）の促進

- ・地方に在住でも参加できるような（例えばホームビジット）仕組み作りを考える。
- ・このために対策チームを立ち上げる。→担当 山田幹事

(2) 2023年度活動報告

1) 事業報告 -別紙参照- (谷)

- ・別紙の事業報告を確認し、数値等の誤りを各担当者が修正すると条件に、了承した。

2) 会計収支報告 -別紙参照- (阿部)

- ・別紙の会計資料を確認し、了承した。

(3) 当面の事業

1) 小江戸川越ツアー 6月の日曜に実施 担当 神戸

2) 歌舞伎教室 7月20日(土) 調布グリーンホール 60名で仮予約済み

歌舞伎終了後(16時～)懇親会の時間があるので場所を探す。(山田)

(4) 第3回総会準備 (谷)

- ・学長(ビデオにて)、春名副学長に出席を依頼し、了承済み。
- ・後半の、自由討論の内容を次回幹事会までに考える。

(5) 25周年記念事業 (谷)

- ・11月の会報を特集号にする。(ページを増やす)
- ・今までの関係者に原稿を依頼したり、あるいは座談会を開き、その内容を載せるなどを検討

(6) 会報76号の構成案および日程 -別紙参照- (山根)

- ・76号は別紙の通りに進めることを確認した。

今後の幹事会の予定について

5月19日(日)

10:00～